

平成29年度 現代文A

教科(科目)	国語(現代文B)	学科(コース)・学年	全学科・3学年
使用教科書	現代文A(大修館書店)		
副教材等			
履修単位(時間)	2単位(70時間)	履修条件	選択

1. 学習目標

近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

2. 指導の重点

文章を読む楽しさを味わったり、文章の中にある考え方、ものの見方などを的確に読み取ったりできるようにする。語句の理解を通じて日本の言語文化の特質を理解できるようにする。

3. 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動(評価方法)
1学期	I-1 未来を見つめる ・『迷う』力のすばらしさ I-1 未来を見つめる ・「どんな人になりたかったか？」 II-1 小説を楽しむ ・「ざしきわらし」	・筆者考え方を的確につかむ。 ・筆者の主張に対する自分の意見を書く。 ・筆者が理想とする人間像を読み取る。 ・自分の理想とする人間像を書く。 ・登場人物の心情や人物像を的確にとらえる。	授業の取り組みの観察 ノート・プリントの確認 定期テスト
2学期	I-2 ことばと文化 ・「排球、そして千利休」 I-3 「自然」を考える ・「人工の自然—科学技術時代の今を生きるために」 II-1 小説を楽しむ ・「青が消える」 II-2 小説に親しむ ・「その夜のコニヤック」	・外来語を輸入しつつ形成された日本語や日本文化に対する筆者の考え方を読み取る。 ・外来語、漢語、和語の性質について理解を深める。 ・「人工の自然」という考え方を読み取り、筆者の主張を理解する。 ・理解をもとに、身の回りの「人工の自然」について話し合う。 ・場面展開をおさえ、主人公の心情をとらえる。 ・状況を把握し、人物の心情を的確に読み取る。 ・短編小説の構造を理解し、読み味わう。	授業の取り組みの観察 ノート・プリントの確認 定期テスト
3学期	I-4 文化の理解 ・「和の思想、間の文化」	・「和」や「間」についての筆者の考えを理解する。 ・日本文化の根底にある思想を理	授業の取り組みの観察 ノート・プリントの確認

	II-3 漱石・鷗外の世界 「高瀬舟」	解する。 ・作品の構成や展開の仕方を理解し、人間や人間社会についての考えを深める。	定期テスト
--	------------------------	--	-------

4. 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
文章を読む楽しさを味わい読書に親しむとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	/	/	目的に応じて、まとまりのある近代以降の文章を読み、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。

具体的な評価の対象

- ・授業での取り組み
- ・提出物
- ・単元ごとの小テスト
- ・定期テスト

5. その他（留意すべき点・担当者からの一言）

学習状況に応じて、新たな教材を取り入れるなど授業内容に変更が生ずることもあります。授業ではできるだけ多くの文章を扱う予定です。